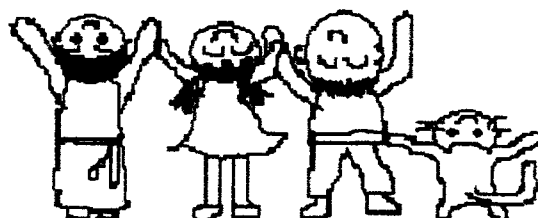


シャロンの花だより

東教区女性会会報

主題 「虹の架け橋」

～世界に、アジアに、隣人に、主の愛を～



わたしは雲の中にわたしの虹を置く。

これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。

—創世記9章13節—

第21期主題聖句

目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。
何事も愛をもって行いなさい。 コリントの信徒への手紙一 16章13節～14節

第78号 (21期 第1号) 2009年9月18日

発行人：日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会

発行者：安藤淑子 編集：松比良節子

卷頭言

～基督信徒と女性会～

田島靖則(東教区社会部 雪ヶ谷教会牧師)



先日蔵書の整理をしているとき、以前ある方からいただいた内村鑑三の『聖書之研究』の復刻版が段ボール一箱分出てきました。ぱらぱらとページを捲りながら、見るともなしに明治34年4月号に掲載された内村の説教を読みますと、次のような一文に出くわしました。

「**基督信徒**は亦涙を流すことを以て恥と致しません、故に世の人は彼は女々しいと申します。基督信徒は血を見て戦慄(ふる)へます、故に世の人は彼は男気(おとなげ)がないと申します……柔和なる、愛心深き、

平和を愛する基督信徒は決して世の以て勇者剛の者と見做す者ではありません。」

昨年、東教区社会部の担当常議員となって、あらためて「**女性会**」の存在意義について考えました。米国福音ルーテル教会のホームページにあった、「ELCAの女性は世界を変えます。なぜなら神は私たちの人生を変えて下さったからです。」という一文に使われていた「make a difference」という表現に、多数派にはない視点を持つことこそ「女性」の強みであるというメッセージを読み取り、女性が集まって行動することの意義を再確認したところです。

確かに現代にいたって、もはや性差に大きな意味を見いだすことは出来ないとも思うところはあります。現代人である私たちは、涙を流し、血を見て心騒ぎ、柔和であり、愛する心深く、平和を好むことは「女性的」とであると言うよりも、むしろ「人間的」と感じます。

しかし、歴史が私たちに教えていることは、そういった「人間的」な事柄を軽視し、人としてある感情を抑圧することを賞賛し、血を見て何も感じず、怒りに身を任せ、愛することを忘れ、戦いを好む時代は、また繰り返されるということです。前述の内村鑑三の説教は、日露戦争前夜の雰囲気をよく伝えています。

「草食系男子」や「弁当男子」が市民権を得る現代日本で、もはや女性だけの運動体に大きな意義を感じないという人がいることは想像に難くありません。しかし、歴史をひもとけば一目瞭然、古い「男性的」価値観が再発見され賞賛されるとき、再び戦争の足音が近づいて来ることでしょう。その時にこそ、かつて「女性的」と評された基督信徒の価値観を呼び覚まさなくてはなりません。

女性は、かつて「第二の性」として抑圧された歴史を持つがゆえに、「少数派」の視点を失わないでいられるのではないか。これが、男性である私が考え得る女性会固有の使命です。



(会長挨拶)

第21期東教区女性会会長 安藤淑子

先だって半日の聖書を学ぶ会に出席しました。会では緑豊かな地方にあるガリラヤ湖から滔々と流れ出るヨルダン川が100キロメートル南の海拔マイナス398メートルの死海に流れ込むこと、死海の塩分は30%ほどもあり誰もが泳げてしまうこと、なども学びました。水は流れ込こみますが流し出さないのがこの死海で、長い年月の間に生物が住むことも出来ない死の湖となりました。

これらのことは私も知ってはいたのですが、ふと死海の有様は現在の女性会の活動と関連するところがあるのではないかと思ったのです。神様からの沢山の恵みを無料でいただいているながらそれらを自分たちだけのものとしがちで、他の女性会や、規模を大きくすれば世界の姉妹たちと、あまり分かち合っていないのではないかと。

私たちは、何かを戴くときは笑顔で受け取ります。ところが何かを差し上げるときは、それを作ったりまた買物に行ったりと、自ら行動を起こさねばなりません。毎日の生活で手一杯な私たちですが少し頑張って、沢山いただいている恵みのわずかな部分であったとしても、それを女性会の中で、連盟の中で、アジアのそして世界の女性と手を取り合いながら、分かち合っていきたいと思えます。

21期第1回会長会報告

会長 安藤淑子

21期第1回会長会は2009年4月18日(土)に26教会56名の出席を得て東京教会で開催されました。プログラムは開会礼拝に始まり、2008年度会計報告、21期役員会からの提案、21期主題の決定、グループ別懇談、討論会、ACWC、NCC、いつくしみなどの報告、そして閉会礼拝と続きました。

(1) 21期役員会からの提案は、1. 女性会の記録をCDに入れ次期役員会に引き継ぐ、2. 女性会役員会からの連絡や印刷物の発送には出来るだけEメールとファックスを利用する、3. 指導者養成講座を開催する、4. 祈りのパートナーを提案する、5. 会長会には賛美の時間を設ける、6. 一年に一度は自宅から一番近い、または未だ行ったことの無いルーテル教会の礼拝に出席し、その経験を分かち合う、7. なるべく大勢の女性会員が交流を深める機会、また各女性会の活動が楽しくなるアイデアを提供すること、などです。そして、予算の裏づけが無くとも実行可能な前述の祈りのパートナーを会出席者の中から探し、祈って欲しいことを葉に書き、パートナーと交換しあいました。葉には20期から使っているおなじみの「虹の架け橋」のロゴマークが色刷りで入っています。ご希望により、各女性会で印刷してお使いいただけるようにEメールでフォームを、または葉をお送りいたします。

(2) 21期の主題は、20期と同じ虹の架け橋～感謝と賛美を持って隣人に仕えよう～聖句は、コリントの信徒への手紙一16章13-14節「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく生きなさい。何事も愛を持って行いなさい」に決まりました。

(3) 「今女性会は何をなすべきか、また今女性会は何をしたいか」について、今回は参加者全員が発言するように、少人数でのグループでメンバーを変え二度の討論をしました。

(21期役員紹介)

(紹介文:安藤淑子 蒲田教会)

安藤^{よしこ}淑子(東教区会長—蒲田教会)

今期役員の中で唯一の単身者。時間はすべて自分の思うように使える幸せ者。日ごろの口癖は「神様のお任せコースに乗っているので安心」。考える前に走りだすことがあり勇み足も多い。

野田マサ子さん(連盟担当:女性会連盟副会長—保谷教会)

ご主人の勤務の関係で引越しのベテランに。何事にも真剣に取り組み、早く手落ち無くやり遂げる。任せて安心の頼もしい方。出会いを大切にしたいとのこと。止むを得ない理由で8月末に辞任なされた。後任(副会長)を探し中。

阿部富美子さん(連盟担当:女性会連盟副会長, 東教区:副会長—羽村教会)

物静かな日本女性の典型と思いきや今年の7月に詩集の処女作を出版。詩を書き始めたのは中学生の頃から。心静かにして詩作を練るとのこと。野田マサ子さんの辞任によって連盟の副会長と書記、東教区の副会長を兼任に。

熊谷^{さちこ}祥子さん(副会長—飯田教会)

飯田教会のベテラン信徒の一人。教会内での活躍のみならず町に出れば「録音図書」作り、また他のボランティア活動にも長年関わっている。

宮原^{せいこ}省子さん(書記—東京池袋教会)

ご自分で「教会大好き人間」と言われていて牧師館生まれ。4代目のクリスチャン。細かいことにも気配り十分で大助かり。止むを得ない理由で8月末に辞任なされた。

^{さかがみ}坂上靖子さん(書記—東京池袋教会) 東京池袋教会婦人会会長三好薫さんの紹介文です
坂上靖子さんは、高校生の頃、池袋教会にこられ、今日まで教会員として役員や婦人会会長等の働きをしてこられました。明るく、責任感が強く、頼りがいのある素敵な方です。長年地元のコーラスグループでも活躍しておられます。

中島美津江さん(会計—市川教会)

道産子で勉学のために上京。結婚後はご主人の中島康文先生と2教会を経て市川教会へ。牧師夫人、母、職業人と沢山の帽子をかぶりながらの忙しい毎日を元気に過されている。

松比^{まつひら}良節子さん(文書—藤が丘教会)

京都、大分、日吉の各ルーテル教会を経て藤が丘へ。引退されたとはいえ職業柄、国語力満点で「シャロンの花だより」のこれからは楽しみ。沢山のボランティア活動をされているので何時もお忙しそう。

(次号ではと坂上さんと野田さんの後任の方を加えた全役員の写真でご挨拶申し上げます。)

「虹の向こう側から」

徳弘由美子 サンパウロ教会

皆様お元気でいらっしゃいますか？ 地球の反対側から、ご挨拶申し上げます。

こちらは、季節も時間も日本とちょうど反対。

ブラジルに赴任して4ヶ月が過ぎようとしていますが、元気に過ごしています。4月18日には、会長会の席で挨拶をさせていただき有難うございました。あれからあつという間の日々でした。ブラジルでの働きを覚え祈りに加えていただき、またご協力いただきますこと感謝いたします。

初めてブラジルの地を踏む私は、遠い国での生活に不安も多くありました。ポルトガル語は初めてで言葉が通じないこと、治安がよくないとの悪い評判、そして文化の違いを不安に思い、実際こちらに来て戸惑うことも多々ありました。でも、そんな不安も少しずつ消えていきました。ブラジルの人たちの心の豊かさ、温かさには驚きました(少しいい加減な？国民性もありますが・・慣れてきました)。人種差別のない国といわれていますが、貧富の差は大きく、治安の問題もあります。

サンパウロには日系人が多く住んでおられますので、普通のスーパーでも日本の食材は(高いですが)ほとんど手に入ります。近所の朝市ではなじみの日系人の八百屋さんや花屋さんにも必ず顔を出し、ここなら割安に買える日本の野菜を買い、カフェを頂きおしゃべりするのを楽しみます。

教会は一世の方々を中心に日本語でそちらと変わらない礼拝を守っています。少人数ですが大きな声で賛美をし、真剣に神様の言葉に聞いています。私も危ない手つきでオルガンを弾いています。持寄りの昼食会は手作りの和食ばかりで、お手製どら焼きおまんじゅうなども楽しみです。異国で色々な苦勞をされてきた方ばかりと思いますが、信仰の深く・強い方々だと感じています。

6月半ばにバザーをしました。皆様から送って頂いた古着、雑貨などを中心に売り、大盛況でした。「日本からの物は作りが良い」ということで人気です。こちらに来るまでは、果たして古着を送っていいのかなと思っていましたが、たくさんの方が朝早くから並ばれていてびっくりしました。皆様のご協力に感謝しています。これからもよろしく願いいたします。衣類は洗濯をした物を送っていただけると有難いです。書籍は重くなりますが、料理や編み物関係も人気です。船便では「古着・古本」などと書いていただければ、こちらでの通関時に別途税金を取られないようです。

まだ数ヶ月の生活・働きですが、教会の将来を考えた時に大きな課題が見えます。今は一世の方がほとんどで日本語の礼拝ですが、次の世代は日本語は難しく教会から離れている状況です。教会を継承していくために次世代にも、と役員会で話し合いポルトガル語の夕礼拝も始め、主人は格闘しています。二世の方達(会員子女)やポスターを見てブラジル人の方も来られ、驚き、喜びました。

こちらに着いた翌日、教会そばのメトロの駅で雨上がりに大きな虹を見ました。こちらで私も「虹の架け橋」になり、共に伝道と奉仕に励みたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会

第20期2008年度会計決算及び第21期2009年度予算 20期会計 綱春子 単位円

	費 目	08 年度予算	08 年度決算	09 年度予算	決算説明
収入の部	東教区会費	699,600	685,200	685,200	571 名 x1,200
	教区便り購読費	15,400	14,400	0	144 部 x100
	教区活動支援献金	120,000	122,500	123,000	連盟より4万円
	感謝献金	80,000	35,662	35,000	席上献金
	コーヒーショップ	15,000	21,211	15,000	
	雑収入	1,000	6,303	5,000	教会手帳返金
	前年度繰越金	559,443	559,443	529,636	
	合 計	1,490,443	1,444,719	1,392,836	
支出の部	教区便り	110,000	76,565	100,000	
	会議費	100,000	51,168	51,000	会場費、謝礼
	交通費	50,000	60,000	60,000	役員交通費
	教区交流費	200,000	144,520	165,000	遠距離交通費
	地区活動費	80,000	44,848	50,000	地区活動
	次世代育成支援金	100,000	79,272	80,000	
	通信事務費	50,000	50,205	64,200	郵送費、事務費
	慶弔費	10,000	10,000	10,000	
	備品費	5,000	2,205	2,000	
	支援献金	220,000	220,000	150,000	
	連盟総会・大会積立金	100,000	100,000	100,000	
	東教区総会積立金	100,000	70,000	70,000	
	雑費	6,580	6,300	6,000	
	次年度繰越金	358,863	529,636	484,636	
支出合計	1,490,443	1,444,719	1,392,836		

2008 年度 積立会計報告

	前年度繰越金	本年度積立	合計
連盟総会・大会	200,000	100,000	300,000
東教区総会	200,000	70,000	270,000

・定額預金 19 期積立金「用いたまえ愛の主よ基金」 500,000 円

支援献金先	
ほしくずの会	20,000
ブラジル伝道	20,000
こどもの家	45,000
東京老人ホーム	20,000
ベタニヤホーム	20,000
千葉ベタニヤホーム	25,000
喜望の家	20,000
神学校改築のため	50,000
合計	220,000

2008 年度女性会連盟送金内訳		
連盟会費	571 名	1,484,600
会報購読	159 件	79,500
連盟活動支援	23 件	89,500
感謝献金	14 件	124,651
サバ神学生支援	33 件	304,778
リストコイン	22 件	94,689
教職家族支援	1 件	2,000
合計		2,179,718

脚注報告 21 期会計 中島美津江

1. 本年6月の連盟総会における湯河原教会の東教区女性会への献金についての質問に関し、前期東教区女性会会計の綱春子姉よりその後回答がありました。その結果、湯河原教会、女性会連盟、東教区女性会が会計報告の献金総額には錯誤がないことを確認しました。

2. 2009年度の予算については本年2月18日の東教区女性会総会において一部修正案が出された結果、4月18日第1回会長会において、上記修正案が可決されました。

おめでとう！飯田教会 百周年！

「飯田教会 幼稚園合同記念会について」

熊谷祥子 飯田教会

6月27日午前9時半ごろより、ぽつぽつと幼稚園関係の方々がお見えになりました。和田秀男・小嶋三義両ご夫妻がお見えになると、そのまま園庭に先生方を囲んだ輪ができました。かつて幼稚園でお働きくださった職員の方々にも大勢きていただいて、展示された懐かしい写真や、アルバムを見ながら話がはずんでいました。

卒園生のバイオリニスト ^{おおだいらひろこ} 大平 紘子さんのバイオリン演奏に堪能して、感謝会に入りました。教区長大柴譲治先生はじめ、ご来賓の諸先生方から温かいお言葉をいただき、楽しいひとときをすごしました。午後は礼拝で、渡邊純幸先生より奨励をいただきました。またご臨席の牧師先生より聖餐の礼典にあずかり、主の大いなる恵みに一同言葉に言い尽くせない感謝に満たされました。

教区女性会の最近の活動および予定

- ・ 9月 5日(土) 10:30~14:00 教区役員会 於：市ヶ谷センター
「シャロンの花だより」編集その他
- ・ 10月10日(土) 10:30~12:30 教区役員会 於：市ヶ谷センター
- ・ 10月24日(土) 10:30~14:00 東教区女性会第2回会長会 於：市ヶ谷センター
テーマ「教会での男女の働きについて」
14:30~17:00 教区役員会 於：東京教会
- ・ 10月30日(金) 10:30~15:00 於：日本基督教団富士見町教会
ACWC一日研修会(申し込み締切日9月20日)
- ・ 12月12日(土) 10:30~12:30 教区役員会 於：市ヶ谷センター

東京老人ホームへの訪問ボランティアは10月16日に予定していましたが、インフルエンザ予防のため東京老人ホームから連絡があり、急きょ中止いたしました。次の機会が待たれますが、その折には皆様の参加よろしく願いいたします。



《編集後記》

水害と雨と地震にもみまわれ、真夏の晴天の少なかった今年の夏でしたが、ようやく初秋のさわやかな気候となりました。21期の最初の「シャロンの花だより」が20期の版を踏襲しながら、何とか出来上がりました。10月には連盟会報も出版され、各教区に課されたアンケート結果「3年後の私たちの教区の未来予想図」などが掲載されるはずですが。連盟会報と教区の「シャロンの花だより」にご意見・ご感想をお待ちしています。秋の行事にもご協力をお願い申し上げます。(S.M.)